

# 校長室だより



気仙沼市立九条小学校  
令和4年10月6日  
NO.10  
校長 白倉 彩枝子

かしこく やさしく たくましく



## G I G A スクール時代の「我が家のルール」

一昨日、校内巡視をしていた時のことです。

廊下で、6年生男子が写真撮影をしていました。よく見ると、ペットボトルに水とビー玉を入れてライトで照らし、美しく光る一瞬をタブレットで撮影しているところでした。聞けば、図工科「きらめき劇場」という学習の一環とのこと。撮影した写真は、担任の先生のタブレットに送信され、Web 展覧会さながら鑑賞できるようになっていました。

このように、タブレットを活用した学習は、国語科や算数科だけでなく、あらゆる教科で行われ、家庭学習においても、1人1台タブレットが「学習用具」の一つとして大活躍中です。

しかし、デジタル端末には、1年前、東京町田で起きたタブレットによる「いじめ自殺事件」をはじめ、多くの問題を抱えているのも事実です。特に、保護者の皆さんが気になっているのは、デジタル端末多用・依存による子供の発達への影響ではないでしょうか。便利で必要な道具だということは、十分に分かっているけれど…本当に…大丈夫？…と。

精神科医アンデシュ・ハンセン氏は、著書『スマホ脳』の中で、社会の急激なデジタル化による影響について、「講義の理解度は、パソコン使用より、ノートやペン使用の方が高い」とか「スクリーンの前で過ごすと、本当の社会的接触をもつ暇がなくなる」などの警鐘を鳴らしています。更に、興味を引くのは、「あのスティーブ・ジョブズは、我が子の I P a d のスクリーンタイムを厳しく制限した」とか、「あのビル・ゲイツは、我が子が14歳になるまでスマホを与えなかった」などの逸話の数々です。

このような話ばかり聞くと、デジタル端末は「悪」のように思えますが、そうではありません。大切なのは、私たち自身が、デジタル端末のデメリットをしっかりと理解して、正しく使うことです。決して「使われる」ことのないように注意が必要です。

そこで提案です。子供たちが、タブレットを有効に活用できるよう以下のことを参考に、「我が家のルール」について、親子で話し合ってみてはいかがでしょうか。

使用時間と時刻を決めよう！目の健康を考えると長くても1時間！

できるだけ大人のいるところで使用しよう！

パスコードは、親子で管理し、定期的に使用履歴を確認しよう！

※パスコードの変更はお済みですか？個人情報管理のため、変更への御協力をお願いします。

『タブレットを使うときの5つの約束』を親子で読み合おう！（裏面掲載）



明日は第1学期終業式です。この日、子供たちは、通信表『かけはし』とともにタブレットを持ち帰ります。各学級から、タブレットを活用した課題も出される予定です。保護者の皆さんには、子供たちが、有効活用できるように、声掛けと見守りをどうぞよろしくお願いします。もちろん、『かけはし』を御覧になっての子供たちへの称賛もお忘れなくお願いします。（\*^\_^\*）

**4日間の「秋休み」…安全安心第一に、どうぞ有意義にお過ごしください。**